



2019年5月15日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保 泰三
(コード番号2784 東証一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 根本 壮一
(TEL:03-5219-5102)

**「19-21 中期経営計画 さらなる成長への挑戦
～健康とともに、地域とともに～」
策定のお知らせ**

当社は、2019年4月1日から始まる3カ年の新たな中期経営計画として「19-21 中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」を策定いたしました。概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、グループ理念として「私たちの思い」「私たちのめざす姿」「私たちの約束」を定めております。「私たちのめざす姿」に掲げるヘルスケアコンソーシアムの具現化に向けて、2019年3月期を最終年度とする「16-18 中期経営計画」では、「グループ一体となった事業強化」「健康・医療関連領域の拡充」「環境変化に先駆けた事業モデルの変革」をグループ経営方針として、事業強化や拡充を進めてまいりました。

今後予想される環境変化の下で、引き続きヘルスケアコンソーシアムの具現化を目指し、健康領域における事業拡大と地域包括ケアシステムへの取組みの強化を行うために、新しい中期経営計画として「19-21 中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」を策定いたしました。

1. グループ経営方針

(1) グループ連携体制の構築

各事業セグメントにおける連携を強化し、グループのシナジーを追求します。また成長分野における他企業との連携を進めます。

(2) 事業モデルの変革

成長分野へ積極的な投資を行い、事業モデルの変革を図ります。

(3) 地域の人々の健康への貢献

「地域包括ケアシステム」に関わる事業基盤を拡充し、様々なステークホルダーへ開かれたプラットフォームの構築を目指します。

(4) さらなる生産性の向上

既存業務の効率化により、新規業務へ経営資源を再配分し、さらなる生産性の向上を図ります。

(5) 人づくり

アルフレッサグループの4つの人財要件(挑戦心、適応力、強い使命感、高い倫理観)のうち、「未知なる領域への挑戦心」と「環境変化に対する適応力」を重視した人づくり戦略を展開します。

2. セグメント別方針

(1) 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品 No.1 卸^{※1}として勝ち続けるための変革を進めます。

① MS 機能のさらなる「進化」

- ・提案営業の強化
- ・エリア戦略の実践
- ・地域包括ケアシステムへの取り組み
- ・メディカル品^{※2}への注力

② スペシャリティ商品への注力

③ グループ物流の「高度化」「効率化」と「標準化」

(2) セルフメディケーション卸売事業

「トータルヘルスケア・マーチャンダイジング・ホールセラー」を推進します。

① 安定的かつ持続的な事業基盤の確立

② 消費者視点に立った商品提案

③ 専売メーカー・専売商品の取り組み強化

④ 将来に向けた投資

- ・新規顧客の創造・新規チャネルへの挑戦
- ・次世代サプライチェーンの創造
- ・取扱品目の拡大に向けた取り組み(日用雑貨・ビューティ)

⑤ 各事業セグメントとの連携強化

(3) 医薬品等製造事業

グループシナジーの強化とさらなる規模拡大を推進します。

① 安心・安全・誠実なモノづくりの推進

② グループニーズに沿った製品の拡充

③ 製造受託・医薬品原薬事業の拡大

④ 海外事業の拡充

(4) 医療関連事業

収益改善を目指した効率化と環境変化に対応した機能強化を図ります。

① 機能に応じた店舗の再編

② 収益改善を目指した効率化・高度化

③ 多機能化による地域社会への貢献

④各事業セグメントとの連携強化

3. グループ経営目標(連結)

	2022年3月期 目標
売上高	2兆7,500億円
売上高営業利益率	1.7%以上
売上高当期純利益率 ^{※3}	1.4%以上
自己資本当期純利益率(ROE) ^{※3}	8%水準

4. 投資計画(2020年3月期~2022年3月期の3年間)

累計1,200億円規模

事業強化投資として840億円、また事業拡大投資とし360億円を予定しています。

5. 株主還元方針

安定的、継続的な利益還元として、純資産配当率(DOE) 2.3%以上

※1 出典:「2019 最新 オール・データ&ランキング」卸グループ別 医療用医薬品事業シェア(株式会社ドラッグマガジン)

※2 診断薬、医療機器・医療材料、栄養食品等

※3 親会社株主に帰属する当期純利益率

以上